

「虐待ゼロ宣言」を 山中智子議員が市長に迫る

命は、取り戻せない

8月10日に開かれた大阪市議会文教経済委員協議会に、山中智子議員は平松大阪市長に「虐待ゼロ宣言」を迫った質疑の概要を紹介しします。

山中議員

先日、西区の事件のあったマンションに行かせていただいて、お花を供えさせていただきました。たくさんのお菓子があって、お花とお菓子の間にお花とお菓子の間に引きも切らずにたくさんの方々が供えにいられて、一度自転車であられたランニングシャツを着た年配の方でしたが、お花を供えた後何も言えずにずっと涙を流し続けておられる姿とか、本当に、私も1歳9ヶ月の子はゼリーは食べられたのかなとか、ちっちゃかったときのことを思い出しながら、せめてゼリー冷やして、冷やしてもぬるくなってしまっただけじゃなく、そんなみんなの思いがなぜ命ある内に、結ばなかつ

たんだろかという、どんなに今花を供えても手を合わせても、或いは皆さん方が後悔をし、反省をなさっても、どんなことがあっても、もう桜子ちゃんとお花くんは水を飲むことは出来ない、もう一度命を取り戻すことは出来ないと言ったことを考えると、ほんとに私達は去年の松本聖香さんの事件から一年余り、一体何をしてきたんだろかという思いを改めて、場を思わざるを得ませんでした。



未然防止に、対応は充分か

そういう思いで多少厳しいことも申し上げるかも知れませんが、よろしくお願いしたいと思います。現場に寄せていただき

まして、確かにオートロックのドアなんですけれども、中を覗いていましたら、管理人さんが出てこられて、週3回、月土の9時〜3時、掃除を兼ねて、

ワンルームマンションにありがちな管理人さんの配置の仕方なんですけれども、週3回9時〜3時は掃除を兼ねてここにいます。私達がこういう趣旨で寄せていただいたと言っただけで、ものすごい泣かれて、つらいとおっしゃってました。児童相談所の方と、一度も会えなかった。私はこの経過の中で、管理会社には問い合わせたとお聞きしています。サブリースという投資目的の分譲の形になっていて、なかなか突き止められなかったという

は判るんですが、もし、何度も何度も足を運ぶ中で、この管理人さんに、顔を見た途端涙が出てしまうほど胸を痛めておられるこの管理人さんに、もしも会うことが出来ていたら、違う事になっていたんじゃないかという思いは、やっぱりあります。充分なことがされていかなかったのでは無いかという批判はやっぱり、皆さん方も、そういう体制を作ってきた私達議会もホントに振り返らないといけないと思っております。

大阪市は全国で立入調査の先駆け なぜ立入調査ができなかったのか

そこでちょっと重複するんですけども、確認したいんですが、先ほどからお聞きして、立ち入り調査できなかった理由としていろいろなお話を伺っているんですけども、私それおかしいと思うんですね。登壇として、大阪市はいろいろ勉強させていただくと、立ち入り調査については、全国にどちらかという先駆けて、に近い形で立ち入り調査に踏み切ったかなりの冒険しながら立ち入り調査のノウハウを積み重ねて、今だいたい全国の立ち入り調査の件数の16%〜17%、大阪市が立ち入り調査を行っているという決してそんな臨検なんていう使い勝手の悪いものに固執しなくとも、立ち入り調査で充分対応できたはずだと言ったことを、今回新聞報道のなかで、昔の児童相

談所の所長。今検証部会の座長をしておられる方ですか、元々児童相談所に努めておられた方達、何人かの方が、立ち入り調査出来たはずだと言ったことをずいぶんおっしゃっているんですけども、なぜこの立ち入り調査なさらなかったんですか。

市村相談支援担当課長

今先生のおっしゃっておられる、立ち入り調査と言うのは、児童福祉法29条虐待防止法による立ち入り調査というような形になっていると思えますけども、これはいわゆる鍵を開錠して入るという立ち入り調査ではなく、調査に来たことを相手に告げ、そして調査目的を告げた上で調査に入ります。

「なぜ、立入調査をしなかったのか！」

抜本策は、すべての子育て家庭を対象に支援策の強化・充実

西区の幼児虐待
死亡事件



8月11日 文教経済委員協議会で
質疑する山中議員=市役所

ただ、相手が拒否した場合、それ以上中に入れないという立ち入り調査になってます。通常、こういう場合29条の立ち入りの場合は、警察官の援助要請もかけながら、相手とやりとりをして、開けていただくという形をとるんですが、今回のように全くその相手が特定できない居るのか居ないのかもわからない、いう応答性がないという場合は、なかなか立ち入り調査が出来ない。それともう一つの方法としては、出頭要求という形で、いついつ何時、何処何処に子ども

保護のためは、 全ての手立てが取られたのか

さんを連れて来て欲しいという形での出頭要求を出すという方法もあるんですが、これも相手の名前等も特定出来ないということで、そういう手段もとれないということがありました。

最後の關鍵するとい臨検捜索という強制的な立ち入りを申請しようとはまずと、一つは…(山中：聞いてない、時間がない)そういうことで強制的な關鍵での立ち入りというのは手続上なかなか難しかったということです。

山中議員

それだったら、なんにも教訓にならないわけですよ。そんなことは無いってみんな言ってる。臨検の話なんか私していない全然じゃなくって、例えば大阪市の児童相談所はいっぱいそんなこと、これはいけないと思えば、これは大変なことが起こっていると認識をしたら、例えば、マンションの隣の人との協力を得て、隣のベランダから行ったことがあるとか、いろんなことをやっているわけですよ。そんなきれいな事言わなく

ても。もちろんそのときには警察は居ないといけませんよ。児相だけでは出来ないだろうけれども、警察をちゃんと立ち会ってもらいさえすれば、この場合は鍵を貸してもらって入ることは出来たはずだと。私は要は、今この部屋の中で大変なことが起こっているかもしれないという認識を、持つておられなかったんじゃないかと言わざるをえないということなんです。最悪のケースを想定なさらなかったんでは無いかと。

虐待通報、相談件数に ふさわしい体制整備か！

それは私は、森局長もおっしゃいましたけども、担当の職員の皆さんは、私は一生懸命なさってると思います。大阪市の児相の職員の皆さんの力量は決してそんな批判されるものではないと思うんですが、しかし先ほどから議論ありますけれども、児童虐待防止法の制定と数度にわたる改正だとか悲惨な事件を受けて、もうどんどん、どんどん通報や相談は増えて行っている。しかも仕事の中身も平成19年の法改正などで、権限の強化がずいぶんとなされて、児童相談所の仕事が増えている中で、やっぱり現場の皆さんの中に、これは大変なことが起こっているかもしれないというところを感じ、感性といいますか、多少踏み込み過ぎたことをしてもいいから、自分たちが命を守るんだと。それで攻めるんだったら攻めてみい、て言うくらい気概とか責任感とか誇りとか、そ

相談別受付件数の年度別推移(1998年度～2009年度)						
年度	養護相談	児童虐待相談 (養護相談の内数)	非行相談	障害相談	育成相談	育成相談
	件数	件数	件数	件数	件数	全件数
1998	1,778	153	575	3,147	553	6,074
1999	1,879	240	738	3,514	559	6,712
2000	1,958	375	668	3,450	577	6,668
2001	2,028	482	562	3,440	730	6,787
2002	2,023	518	574	3,462	673	6,755
2003	2,082	634	472	3,679	738	7,032
2004	2,396	803	496	3,693	855	7,540
2005	2,520	747	514	4,426	913	8,406
2006	2,216	788	519	4,384	801	7,962
2007	2,249	913	526	3,736	834	7,365
2008	2,344	871	532	4,290	803	7,997
2009	3117	1,606	489	4,207	874	8,797

上野運営担当課長

昨今の非常に虐待の増加というのは著しいものがございます。ただこの1月に子ども相談センターとして新たに森之宮の方で開設いたし、この行財政の厳しい中にあつても子どもをまず第一に守るという本市の…この2カ年におきましても現在職員の体制に充実を努めておる所でございます。本日に職員は今回こういうそういった中でもこういった事件が起こりましてまことに申し訳ない気持ち、何とかもう一歩出来なかったというのは我々も同じ気持ちではございませんすけども、オープン当時の時に市長自ら初日に来られ、またセンター長からも全員を集める中で

虐待相談は激増

谷井子ども相談センター所長

委員ご指摘の通り、児童虐待相談、通報はじめと致しまして、私共の方に寄せられています相談件数、年間約9000件を超える、そういった状況になっております。こういった状況の中にありまして、とりわけその児童虐待を担当している職員と言いますのは、本当に日々すいと寄せられる通報への対応、休日夜間を問わずですけれども、対応させていたいております。緊急に出動が必要となる場合も多々ございますし、また子どもを親から分離するといったような厳しい対応もさせて頂いております。これ当然私共の本来の業務ですので、当然のごとでございますけれども、こうした状況を踏まえまして、私共平成22年度から23年度にかけてまして、職員数を約1.4倍に増やしていくこと、言うことで現在関係局とも調整している最中でございます。まあこの大変厳しい状況ではございますすけども、子どもの命を守ってい

訓示をして頑張っているという気持ちには忘れずに頑張っていきたいと思っております、よろしくお願いたします。

山中議員
体制が十分なのか不十分なのか、どう受け止めて良いのかあれでしたけれども、苦渋のお答えだったというふうに私は受け止めさせていただきます。で、市長がこの間新聞報道を見ても、かなりの増員が必要になる、というふうに述べられたという報道もお見受けいたしました。このかなりの増員が必要になるという体制の強化というのは、まだ途中経過だと思つたらいいんですか。それとも今度発表なさった中身がほしい終着駅な

山中議員

今度いろいろ勉強している中で、例えばこんな研究があるんですね。ある大学の研究室が研究してるんですけど、全国10箇所の児童相談所の協力を得て、業務量について調査してるんですけど、心身障害相談に関わるケースに費やす業務量を1とすると、虐待相談に関わる業務量は、1.2、8だという、そういう調査結果、何年かやってみるんだけれども、だいたい似たような、心身障害相談が1、養育相談は7とか、虐待相談は1.2、8とか、そういうやっぱり業務量の調査の結果そういうものが出てて、そういう一番業務量に関わる虐待相談が、うーんと増えて、さっきおっしゃったようにものすごい増えている。

ケースワーカーは微増 諸外国は、福祉司一人に20ケース

児童福祉司も増やしてはおられるけれども、1. 何倍という、あえて程度と言わせて頂きたいと思えます。もう虐待相談の方は数倍、5倍6倍10倍という形で増えている中で、ケースワーカーさんは1.4倍とか1.1倍という増え方では、やっぱりこれはホントにこういうことを繰り返さない児童相談所を作っていくますつていうことには、ならないんではないかというふうに言わざるを得ません。

も一つ、これはよく言われていることですが、外国では例えばカナダ、アメリカ、ニュージーランド、イギリス、韓国、こんなところでは一人の児童福祉司さんがかかえるケースってのはだいたい平均して共通して20ケースくらいだと、言うことです。ケースの数え方はいろいろあるんだとお聞きはしますけれども、しかし、日本ではだいたい

100ケースを超える、150ケースくらいだと言われていますし、大阪では、ある新聞の記事ですけど、大阪市のケースワーカーさんは継続事案を含めると常に1人200〜250件を抱えていると。この諸外国が一人20件であたっているというケアのケースを、日本のケースワーカーさんの方は150も170も、大阪の場合は200も250件も抱えて仕事をしているというのが、昔から言われていることなんです、今急に言われ始めたことではなくって、前から言われていることなんです。

国に配置基準の見直し、抜本的増員を

市長ね、こういう実態を見たときに、相当な増員が必要だと思うというふうにおっしゃった、その相当の中身をどう検討していくかというときに、何を目標にしているのか、どういう像を描きながら何を導きの糸に大阪市は検討していくのかつていうときに、やっぱりよりよい水準、もちろん大阪だけが突出してしまうということは大変ですから、国に対してもこの基準を上げてくれと要望しないと、いけないと思えますけれども、相当抜本的な増員が必要なのではないかというふうに思いますし、国会ではこの議論がずっとされてますね、児童相談所の児童福祉司の配置基準についてはずっと議論がされて、前の大臣だった福島さんは、やっぱり児童福祉司さんをもつと増えて、子どもたちをしっかりと見るようになればずいぶん変わっていくと思えますと、人員の確保や質の向上など、児童相談所自体の体制を充実させる方向で検討が進められるようやっていますかと思えますというふうに国会で答弁しておられますし、2006年4月には、厚生労働省が設置をした今後の児童家庭相談体制の在り方に対する研究会というところで、2006年4月ですよ。もう4年も昔に今後各都道府県は政令改

正もふまえ、また相談内容なども加味しながら、よりいっそう児童福祉司の配置を充実させることが望まれる。その際相談件数や児童福祉司の担当事例件数、児童数など、人口以外の要素を基本とした基準について国で示すべきである、こういう厚生労働省の研究会が2006年にこういうものをまとめているのにそのまま放っているわけです。だから、市長として堂々と国にこのところ、配置基準早く見直してほしいと、言うことも私は、是非今おっしゃって頂きたいと思うんですがいかがでしょう。

平松市長

まず委員、指摘のその大幅な増員も必要かという反応でございますけれども私の。これは中国から帰ってきた車の中でこの件の最初の報告を受けた際に、何が今の子ども相談センターにとって欠けているのか、人員なのかそれともそれ以外の体制なのか、ということをお聞きした際に大幅な増員が必要なのかと言ったことを、翌日の会見の際に話したことがさもそれが、私が大幅な増員が必要であるというふうに言ったかのように伝わってしまった部分はございます。

年度	児童福祉司数
2001	39
2002	41
2003	41
2004	42
2005	42
2006	43
2007	43
2008	48
2009	46
2010	51

もちろん単に増員すればいいというものではなくて、今回の事件の場合には、やはり初動出勤体制、現在進行形の悲鳴に対して誰が現場に一番最初に駆けつけるのかという部分さえあれば何とか救えたんじゃないかという思いが、未だに私こうやって立っておりましても抜けません。昨日たまたま午前中1時間ほど子ども相談センターに寄りまして、係長以下の現場の人達に少し集まってもらいまして、

積極的、あらゆる機会を通じて

国に対する要望ですが、これはもう積極的にあらゆる機会を通じて、それは我々が持っている子ども相談センターっていうのは1箇所では一番大きな施設らしいです。日本中探してもここまで立派な施設は無い。その施設にふさわしいだけの仕事をする為に、基準としてどういった人員配置が有効なのか、それから、今日も言って参りました警察官の常駐と、いうような形も含めて、これからあらゆる知恵を総動員して、体制のありかたを探って参りたいと思っております。

山中議員

それは、よりたくさんの方達の声を聞きながら、ホントにそこに

警察の協力やファミリーズ問題等々 障害になること塾々と問題提起を

もう大阪府警には行かれたということなので、少し前に進んでいくのかなと思うんですけども、児童相談所の経験のある方達の声をお聞きすると、やっぱり警察のもうちょっと関与を、もちろん児童相談所の体制がきちんとして、児童相談所の要請を受けてというところですけれども、例えば

さつき市長がおっしゃっている朝5時半の通報でも警察だけで、もしも児童相談所が頼めば、警察だけで行ってくれるのであれば、それで出来てたと思うんですよ。ところが警察は、児相も来てくれて

6人ほどでしたけども、あとコールセンターの方にも二人ほど集まってもらって、現場の今の思いついていうものを聞きましたが、やはり現場っていうものがどれだけのその連日かかってくる様々な事案に対して、情報交換する時間すら無い状況である。ですからその思いをどれだけ汲めるのかという体制を補填する人材は置かなければならないだろうと、いうふうに今は思っております。

特に予算を惜しむということの無いように全力を尽くして頂きたいというふうに思います。しかしそのいろんな声を聞きながら、やっぱりもう少し人を増やさないと、いけないのかなとなったとしても、相当専門性のいる仕事ですから、単に人を増やせばそれでいいという訳ではないだろうと思えます。むしろノウハウのない方達、経験のない方達が一度にたくさん来たら余計混乱するってことはあると思えますので、今の形の中でいきなり数倍にするということは無理な中で、これも国にぜひ要望して頂きたい。

なるから、なかなかそういうときに警察が動いてもらえないんだけれども、だから国の何かこう一文の中に、警察だけでも行けるといふ何か文章を入れて欲しいんだと、言うようなことも、



地味のみなが、お父さん・お母さん。

2009年度オレンジリボン運動公式ポスターデザインコンテスト最優秀賞作品

その事が最初の介入と後々再統合していく児童相談所との役割を分けられる上でも、後々の仕事もすぐくスムーズになるから、そこるところをぜひ国に要望して欲しいんだという声も上がっています。

何れにしましても、この事件で言うのはいろんな要因はありますけども、大阪市で起きたことであって、ホントに今回は批判は免れないだろうと、甘んじて受けなければいけない部分でいうのはあるでしょうし、反省して余りあるし、だから具体の対策は一つ一つとっていかないといいけないと思いますけども、しかし先ほどから議論ありますように、それだけでは済まない、やっぱり今度の事件でいうのはいろんなことを、いろんな問題を投げかけているんじゃないかなというふうに思います。まさに家庭の崩壊とか地域の崩壊という中で、家族の再生とか地域の再生をしていくというものすごい大きな問題を今度のことは投げかけていると思います。

親族里親制度の見直し

しかし、親族である場合、親族里親というのは非常に厳しい要件があるんだそうです。親族が里親として認められるのは、死亡か行方不明か、拘禁、このときだけで、虐待などの場合親族は里親として認められない。だから仮に養

育をしたとしても生活費が出ない。ここをどう変えるか、でもいぶん親族が一番安定した形で親族が面倒見られる。しかも勝手に扶養してらわけじゃないから、児童相談所がきちんとフォローしてきますので、

対策をとるだけではなくて、むしろ例え虐待を行った人が取り戻しに堂々と国や社会全体に対して、今度のことから浮き彫りになってくるような問題についてはもう全部洗い出して、堂々と問題提起をして、一緒に考えて一緒に解決をしていこうたいと思います。それは先ほどから出てますように、集合住宅ですね、特に今回のようなサブリースの投資の為に誰かが買っていて管理会社が借りて、しかもそこから又貸しをしてというね、ホントに大変な住まい方だとか、そういうときに管理会社はどういう責任を負わせるのか、あるいは今度の事件でいぶん新聞で色々出ましたけれども、シングルマザーであらうお仕事をしておられる方達で相当おられる中で、今度の場合でも小さい子どもさんがいると、わかって雇っておられた訳だから、じゃその雇い主は何をしていたんだという問題だとか、あるいは今度の場合、母親の元夫の両親ではないかというふうな言われてますね。

でそういう点で言うと、不十分な対応してしまった大阪市だからっていつかで、萎縮してしまつて内向きに反省をして、内向きに緊急の

例え虐待を行った人が取り戻しに堂々と国や社会全体に対して、今度のことから浮き彫りになってくるような問題についてはもう全部洗い出して、堂々と問題提起をして、一緒に考えて一緒に解決をしていこうたいと思います。それは先ほどから出てますように、集合住宅ですね、特に今回のようなサブリースの投資の為に誰かが買っていて管理会社が借りて、しかもそこから又貸しをしてというね、ホントに大変な住まい方だとか、そういうときに管理会社はどういう責任を負わせるのか、あるいは今度の事件でいぶん新聞で色々出ましたけれども、シングルマザーであらうお仕事をしておられる方達で相当おられる中で、今度の場合でも小さい子どもさんがいると、わかって雇っておられた訳だから、じゃその雇い主は何をしていたんだという問題だとか、あるいは今度の場合、母親の元夫の両親ではないかというふうな言われてますね。

知恵も財源も

平松市長
2点と言いますか、これから大阪市が先ほども児童虐待0と言う宣言をしましたように、あらゆる社会の知恵を総合しながら、積極的

山中議員
知恵だけではなくて、予算と人をきちんと振り向けて頂きたいと申し上げて終わります。



山中議員の質問に答える平松市長 =市役所 8月11日

◆秋の決算市会にむけての懇談会のご案内◆

9月17日開会、10月13日閉会で9・10月市会が行われます。つきましては、下記のとおり、秋の決算市会にむけての懇談会を開催いたしますので、ぜひ、ご参加下さい。

(日時) 9月10日(金)午後1時30分～4時
(会場) 市役所7階 第6委員会室

◆ 日程(案) ◆

9月～10月公営・準公営決算市会

2009年度の公営企業会計(バス、地下鉄や水道、市民病院などの5事業)及び準公営企業会計(中央卸売市場、港営、下水道の3事業)の決算審議をします。

- | | |
|--------|------------------------|
| 9月 7日 | 9月陳情請願書の締め切り |
| 9月 9日 | 運営委員会 |
| 9月13日 | 民保事前調査委員会、計消事前調査委員会 |
| 14日 | 文経事前調査委員会、建港事前調査委員会 |
| 15日 | 財総事前調査委員会、交水事前調査委員会 |
| 9月17日 | 開会本会議 |
| 9月21日 | 決算委員会説明 |
| 9月22日 | 決算委員会(実地調査) |
| 9月27日 | 決算委員会(質疑) |
| 9月28日 | 決算委員会(質疑) |
| 9月29日 | 決算委員会(質疑) |
| 9月30日 | 決算委員会(質疑)、10月陳情請願書締め切り |
| 10月1日 | 決算委員会(質疑) |
| 10月4日 | 運営委員会 |
| 10月6日 | 民保事前調査委員会、計消事前調査委員会 |
| 7日 | 文経事前調査委員会、建港事前調査委員会 |
| 8日 | 財総事前調査委員会、交水事前調査委員会 |
| 10月13日 | 閉会本会議 |

